



第1回 次世代まちづくりシンポジウム

地域包括ケアの深化

～ポストコロナを展望して～

東京大学と自治体がパートナーとなって取り組んでいる
地域の先進事例から、課題と解決のアイデアを学ぶ！

2021年11月11日(木) 14:00～16:00

コロナ禍における長期の自粛生活や社会活動の停滞が、高齢者の心身に深刻な影響を及ぼし、フレイル化を加速させるとして強く危惧されています。

本シンポジウムでは、フレイル予防の本質は個人単位の意識変容だけではなく、地域全体で取り組む「総合的なまちづくり」という視点を参加者の皆様と認識を共有し、課題解決に向けた取組みに繋がることを目的としています。

プログラム

基調講演 飯島勝矢 東京大学高齢社会総合研究機構 機構長・未来ビジョン研究センター 教授
橋本圭司 柏市保健福祉部福祉政策課

話題提供 「オンラインシステムを活用したフレイル予防」 佐藤雄太 東京大学高齢社会総合研究機構

パネルディスカッション 「コロナ禍におけるフレイル予防への取り組みとポストコロナ展望」
登壇者：自治体職員等

講評 辻哲夫 東京大学高齢社会総合研究機構

開催方法： Zoom ウェビナーによるオンライン開催（事前登録制）

対象： 地域包括ケアのまちづくりに取り組む自治体、
社会福祉協議会、地域包括支援センター等の職員の皆様

定員： 500名 ※定員になり次第、受付を終了します。

申込方法： 右記サイトよりお申込みください。

申込締切： 11月5日（金）

参加無料



<http://www.iog.u-tokyo.ac.jp/?p=6640>



共催：東京大学高齢社会総合研究機構（IOG）・未来ビジョン研究センター（IFI）